

## 教科等横断型授業「国語」×「情報」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(4番)「質の高い教育をみんなに」			
実社会での課題	情報技術の発達により、メールや動画のやり取りで意見交換をすすめることができるようになり、直接人と会わなくても生活が成り立つ現在、自分の考えを整理して相手に伝える能力の低下が懸念されている。音声言語・非音声言語または、視覚化した情報を使って自分の考えを相手に伝えるプレゼンテーション能力を育成することはこれからの社会を生きていく生徒にとって必要な重要な課題である。			
生徒に身に付けさせたい資質・能力	自分の考えや思いを相手に伝えるための方法や技術を習得させ、効果的な伝え方を模索することで、コミュニケーション能力を身に付けさせる。			
主題(教材)	自分の考えや思いを伝える。			
	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等
指 導 入	直接自分の考えや思いを相手に伝える必要性を理解する。		○ 自分の考えを相手に伝えるためには、言葉以外にも身振り手振りや視覚化した情報が有効な手段になることを理解させる。	NHK高校講座
	1 プレゼンテーションの表現技術について理解する。 2 プレゼンテーションの構成について理解する。 3 スライドの効用について理解する。 4 プレゼンテーションを作成する。 5 班ごとに発表を行う。		○ 情報を視覚化して伝えることの重要性を理解させる。 ○ 伝えたい内容を整理し、できるだけシンプルにまとめさせる。 ○ 様々な機能を使うことによって、効果的なスライドができることを理解させる。 ○ 音声言語と視覚情報を効果的に組み合わせることを意識させる。 ○ 声の大きさ・スピード・スライドを提示するタイミングなどを意識し、相手に伝わる工夫をさせる。 ○ 相互評価をさせる。	生徒用端末  生徒用端末  生徒用端末
過 開	6 評価		○ 相互評価をさせる。	評価シート
程 整 理	○ 評価を基に、自分の発表を振り返る。		○ 伝えたい内容を効果的に伝える技術について確認させる	
備 考				